

ツルハグループ 日本ユニセフ協会に3,000万円を寄付

株式会社ツルハホールディングス

株式会社ツルハホールディングス（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：鶴羽 順）は、2020年7月1日よりツルハグループ各店舗で開始した【レジ袋有料化】におけるレジ袋の販売収益金額 ※1 3,000万円を日本ユニセフ協会に寄付し、未来ある世界の子どものための支援活動に役立てていただきます。

マイバッグの持参を、多くのお客さまにご協力をいただいたことで、2020年7月より約3ヵ月におきましては、レジ袋の利用率は約18%（辞退率約82%）となり、これによるCO2削減量2,547t-CO2 ※2 となりました。

一方、レジ袋を必要とされるお客さまには、バイオマス素材 ※3 を配合したレジ袋を有料でご提供しています。※4 その販売収益をこのたび日本ユニセフ協会に寄付させていただき運びとなりました。

レジ袋の主な原料であるプラスチックは、海洋汚染やごみとして焼却処理される際の温室効果ガス発生による環境汚染等が世界規模で問題となっています。「子どもたちに、そのまた子どもたちの時代になっても豊かな環境を残し、地球で暮らし続けることが出来るように、私たちが世界を変革する」この強い願いを胸にツルハグループではレジ袋の削減に積極的に取り組み、資源を無駄にしない持続可能な社会の実現に合うライフスタイルの定着に向け積極的にお客さまとともに取り組んでまいります。



※1 レジ袋の販売価格（税抜き）から原価を差し引いた金額

※2 レジ袋辞退1回あたり30.8g-CO2で換算（基準値：環境省「3R行動見える化ツール」）

※3 サトウキビ等の植物由来のプラスチック

※4 現在、100%プラスチック素材からバイオマス原料配合素材へ順次切り替え中

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ツルハホールディングス 総務部 TEL：011-783-2755

弊社ホームページ

<https://www.tsuruha-hd.co.jp/>